

入試について

入試情報

大学
入試情報ページ



人間社会学科・子ども学コースの入試には、学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程／後期日程）があります。

学校推薦型選抜：書類選考の上、小論文、面接による選考を行います。

一般選抜（前期日程）：大学入学共通テスト（6又は7教科8科目）、個別学力検査（2科目）、調査書等による選考を行います。

一般選抜（後期日程）：大学入学共通テスト（6又は7教科8科目）、小論文、調査書等による選考を行います。

※ 一般選抜では、出願時に「人間社会学科（教育学・子ども学コース）」を選択してください。

これに加えて、新フンボルト入試、帰国生徒・外国学校出身者特別選抜、私費外国人留学生特別選抜、第3年次編入学試験があります。

詳しくは本学サイトをご覧ください。最新の募集要項をご確認ください。

また、**オープンキャンパス**が例年7月に開催されます。ぜひご参加ください。

免許・資格／進路について

免許・資格

教員免許状：幼稚園教諭一種を主免許として、小学校教諭一種を取得可能。また、中学校教諭一種（社会）・高等学校教諭一種（公民）が取得可能です。

取得できる資格：学芸員（博物館）・社会調査士

※ 履修の組み合わせにより、複数免許・資格を4年間で取得できないことがあります。

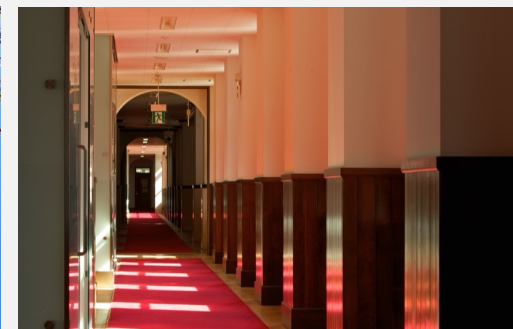
進路

子ども学コース卒業生の進路は、**教職・保育職、行政職、一般就職、大学院進学**など、さまざまです。

子どもや教育・文化にかかわる企業に就職している卒業生、行政職として子ども・子育てに貢献している卒業生も輩出しています。また、**お茶の水女子大学大学院 保育・児童学コース**など、大学院に進学後、子ども・教育・保育にかかわる研究者として、大学教育に携わる道も開かれています。子ども学を通して得られた人間理解や創造性は、一般企業への就職にも生かされています。

近年の卒業後の進路については、HPをご覧ください。

子ども学
コース
HP・卒業
後の進路



お茶の水女子大学
文教育学部 人間社会学科

子ども学コース

The Faculty of Letters and Education
Department of Human and Social Sciences
Child Studies

「子ども」という視点を通して、
人間・社会・文化を原点から探究する



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

もっと知りたい…

アクセス・公式サイト

東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅から徒歩7分（池袋駅から2駅、東京駅から6駅）。詳しくは、本学サイトをご覧ください。



大学公式 交通アクセス 子ども学HP

お問い合わせ

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 国立大学法人お茶の水女子大学

<https://www.ocha.ac.jp/index.html>

* 子ども学コースについて：child-studies@cc.ocha.ac.jp

* 入試について：〈入試課〉nyushi@cc.ocha.ac.jp

概要

子ども学コースでは、「子ども」という人間存在について、保育学・心理学・社会学・歴史学など、学際的な理論的探究を深めるとともに、教育・保育の場でのフィールドワーク等を通して、実際の子どもの姿に触れることで、リアルな学びを目指します。

人間を
原点から考える

「子ども」という視点から考えるとき、私たちは社会の中で当たり前と思われている「大人」基準を超えて、人間・社会・文化のあり方を、新たな眼で見通すことができます。こうした「子ども学」の知を生かすことで、教育の場、企業や官公庁、学術研究の世界、そして地域に、今までになかった新しい貢献が可能になります。

多彩な
専門領域

子どもとその成長を根本から考える教育・保育思想、その実践にかかわる保育学、子どもの発達やその内面を理解する心理学、マクロな視点から子どもが生きる世界を俯瞰する社会学、子どもや教育を支える教育制度や、その変遷をたどる歴史学など、多彩な専門領域から子ども・人間を探究することができます。また、子ども学主プログラムに加えて、副プログラム・学際プログラムなど、幅広い領域の科目を学ぶことが可能です。

子どもの生きた
姿に触れて学ぶ

学際的な研究とともに、教育・保育の場において、実際の子どもの姿に触れて学べるのが、お茶の水女子大学・子ども学コースの特徴です。同じキャンパス内にあるお茶の水女子大学いずみナーサリー・こども園・附属幼稚園など、0歳からの子どもたちが生活する場に臨み、フィールドワークやインターンシップを通して実践的に学びます。

教職・社会への
貢献

子ども学コースでの深い学びは、幼稚園教諭をはじめとする教員免許取得においても、教育・保育の根本を捉え、子どもたちに真に貢献できる教員となることを可能にしています。同時に、行政職・一般企業に就職する卒業生も輩出しており、子ども学からの人間理解は、社会の幅広い領域で活躍する力となっています。

教員紹介

保育学

教授 西隆太郎 NISHI Ryutarō
子どもと出会い、人間の原点について学ぶ

臨床心理学

保育とは、人と人との出会いに基づく営みです。保育的関係の中で、私たちは子どもと共に学び、成長していきます。こうした相互的な出会いの体験を、保育学や臨床心理学の視点から捉え、人間の原点への理解を深めていきたいと思ひます。

保育学

准教授 辻谷真知子 TSUJITANI Machiko
子どもの育ちや経験を丁寧に捉える

教育心理学
発達心理学

目の前にいる子どもは、今、何を感じているのか。そして過去、未来を含めて、何を経験し育っていくのか。子どもから学び、互いに学びを共有し語り合うことで、一般論では捉えきれない多くのことが見えてきます。

幼児教育学

講師 松島のり子 MATSUSHIMA Noriko
学問をとおして子どものしあわせを実現する

保育制度・
政策

子どもが育つ社会や環境のあり方をより良くしていくために、保育の制度や政策（の歴史）に関心をもっています。子どもを思い、力を尽くしてきた先達のあゆみをたどり、多角的に考えていきたいと思ひています。

サステナビ
リティ教育

助教 光橋翠 MITSUHASHI Midori
子どもたちと共に、持続可能な人間社会をめざして

子ども
社会学

世界各地の紛争や地球温暖化などが深刻化するいま、人間社会そのものの存続が問われています。保育・幼児教育においても持続可能性への理解を深め、子どもたちと共にどんな未来を創り出していくか、多角的に模索していきたいと思ひます。

子ども学の伝統と未来

お茶の水女子大学は開学以来、附属学校園と連携して、日本の教育・保育をリードしてきました。附属幼稚園は1876（明治9）年に創設された、日本でもっとも長い歴史をもつ幼稚園です。2005年には学内保育所いずみナーサリー、2016年には文京区立お茶の水女子大学こども園が創設され、子ども学コースと連携して教育・研究を進めています。「日本のフレーベル」とも呼ばれる倉橋惣三（1882-1955）は、附属幼稚園主事（園長）を長く務め、『幼児の教育』誌（創刊124年）の編集に携わるなど、子どもを深く尊重する人間的な保育を全国に広めました。倉橋が主唱して創設されたお茶の水女子大学・児童学科が、現在の子ども学コースの出発点です。以来、子ども学の知を受け継ぐ先輩が、大学、研究職、教育現場、行政企業などで活躍し、次の世代を応援しています。みなさんも、この流れに参加して、子ども学の未来を切り拓いていきましょう。



カリキュラムの概要 子ども学（主+強化）プログラム

1年～
基礎

子ども学概論、社会学総論、人間と発達、人間科学論、教職概論

1年～
概論系

幼児教育方法学概論、幼児教育課程概論、子ども社会学概論、幼児教育制度概論、保育内容総論（子どもと遊び）、幼児教育学原論、子ども生活論、人間関係論、子ども文化論、子ども学特殊講義

2年～
演習・実習

子ども学フィールドワーク、幼児教育学演習、保育学演習、子ども社会学演習、家庭教育論演習、幼児教育制度演習、子ども発達環境論演習、乳幼児心理学演習、子ども学調査法演習、子ども学インターンシップ、子ども学研究指導、卒業論文

近接領域

人間社会科学科 社会学コース・教育科学コース基礎科目 学校インターンシップ、教育科学コース演習科目 児童福祉論、発達臨床心理学、臨床心理学概論

教職科目

幼児理解と教育相談 保育内容指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現）、保育5領域に関する専門科目

4年・教職科目

教育実習、事前指導、事後指導 教職実践演習